

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	3-2-1	施策名	学力・体力の向上	施策主管課	小中学校課
■内部評価について					
①成果指標について	<p>・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか。 →いずれも行政による取り組みの成果指標として、目指す姿に沿っている。ただし、この施策の目指す姿の実現には、後述するように行政以外による取り組みも重要である。</p> <p>・目標値の設定は適切か。 →学力の目標値設定は適切である。ただし、体力の目標値については、体力・運動能力の低下傾向の現状を考慮し、水準の見直しが必要である。</p> <p>・他に考えられる指標はないか。 →児童・生徒が「いきいきと」学力や体力の向上に取り組むためには、「学習定着度調査」や「体力・運動能力調査」による客観的な値だけではなく、児童・生徒が意欲を持って(楽しみながら)学力や体力の向上に取り組んでいるかどうかを確認することも重要である。</p> <p>・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →施策評価シートの記述は行政による取り組みの分析のみにとどまっており、十分ではない。施策の目指す姿の実現における家庭や地域社会などの行政外部の状況についても視野に入れる必要がある。</p>				
②施策を構成する事務事業について	<p>・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →過剰なものはないが、以下のように不足しているものがある。</p> <p>・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →現在の事務事業はいずれも目指す姿の実現に貢献している。</p> <p>・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。</p> <p>・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →学力向上推進事業(学力向上支援)の模範授業・講義の取り組みは、受講者数や開催数を拡大し、より多くの教員が模範的な教育に触れられるようにする必要がある。また、1時限あたりの授業時間を長くし、児童・生徒が考える時間を確保することも、考える力を養う点で学力向上に資すると考える。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →施策評価シートの「施策の基本情報:現状と課題」において、「基礎的な知識・技能を活用する力の育成が十分でない」「食生活や生活習慣の変化により、肥満傾向の児童生徒の割合が若干増加傾向」との指摘があるものの、現状ではこれらの課題に対応する事業がない。基礎基本の活用に関する事業、および食育指導に関する事業が必要である。</p>				
③施策の総合的な評価	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点や課題が明確になっているか。 →(課題)の1つ目の項目は何が課題なのかが不明確である。また(課題)の2つ目の項目は課題だけでなくその解決の大まかな手法にまで言及している。加えて(課題)の3つ目の項目では体力向上の取り組みの必要性に言及しているにもかかわらず、(今後の方向性)では具体的な取り組み内容が示されていない。</p>				
④シート記載内容について	<p>・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →概ねなっている。</p>				